

★就労支援部会「利用者の一般就労に向けて～送り出しの支援を考えるパート2～」

(グループワーク参考資料)

●9月3日開催時にグループワークにて抽出された「積極的に利用者を就職へ送り出すときの不安」

- ① 一般就労した後の定着率はどうなっているのか気になる。会社側の配慮、相談体制など本人へのサポート体制があると前向きに検討できるように思われる。
- ② 作業内容や職場環境、作業時間が本人に見合っているか、また合理的配慮や生活面のケアなどが行われているか事業所として不安を感じる。
- ③ 希望する職場や利用者に合う仕事内容、また企業が求めるスキルがあるかどうかなど、企業情報が少ないと感じている。
- ④ 一般就労に向けての動きは主治医との相談が必要。本人の状態に波があり主治医の見極めが事業所としては必要だと考えている。
- ⑤ 一般に向けた実績、能力がないまま、ご家族のご意向でフルタイムに進んだ方がいた。現在、一般就労先で必要な支援がされているのか心配である。
- ⑥ 実習をする前に本人が就職を決めてこられる事が多く、内定が出たと急に言ってくる場合がある。本人に見合った就職先を決めてこられたのか、確認や対策が必要だと感じている。
- ⑦ 事業所を利用されている現段階では一般就労への能力があると考えた。しかし、就職すると環境が変わり人との付き合いや新しい環境の中で定着できるか不安を感じている。